

第32回

都島メディカル ・カンファレンス

参加費
無料
申込要

本会は、医師会と大阪市立総合医療センター、近隣の診療所・病院勤務医師の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心としたカンファレンスです。このカンファレンスを通してレベルが向上し、相互の親睦も深め、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

今回は“呼吸器症状”をテーマに専門家だけでなくもきちんと理解できるプログラムを企画いたしました。皆様と一緒に勉強したいと思いますので、ぜひ、ご参加ください。

2022年

9月17日 (土)

午後3時～5時 (14時30分受付開始)

会場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール

対象：医療従事者

◆プログラム



【症例①】呼吸困難を主訴に地域医療機関から紹介された症例に関する検討

初期急病診療部部長 山口 利昌

呼吸困難を主訴に受診する患者に関して、原因の多くは肺炎などの感染症を含む呼吸器疾患や循環器疾患によるものですが、他にも血液疾患や代謝性疾患、神経筋疾患によって呼吸困難を訴えていることもあり、治療方針の決定にはその鑑別が重要になります。今回は“呼吸困難”をキーワードとして地域医療機関から紹介された症例に関する検討を行いました。この報告が皆様の明日からの診療の一助になれば幸いです。



【症例②】発熱と皮疹で来院され、呼吸不全へと至った症例

総合診療科 八百 修平

膠原病/自己免疫疾患において診断、治療の遅れが生命予後に関連する緊急性の高い疾患が存在します。時に病歴や身体所見のみで診断し、検査結果を待つまでに早期かつ強力な免疫抑制剤治療が必要なことがあります。緊急性の高い膠原病/自己免疫疾患のひとつである本症例を発表させて頂くとともに、早期診断のために確認すべき病歴や身体所見、ならびに専門医療機関へ紹介すべきポイントなどを解説させて頂ければ幸いです。



【特別講演】「長引く咳」、その考え方と病院紹介を
勧めるべきPoint

呼吸器内科副部長 柳生 恭子(やぎゅう きょうこ)

咳反射は、埃・ウイルス・細菌などの異物が体内に侵入するのを阻止するために、肺や気道から強制的に空気を押し出して異物を除去する防御機能です。気道内に侵入した異物は、気道粘膜上の咳受容体を刺激し、延髄を介して咳嗽を発生させます。他に、気道粘膜の炎症や気道に貯留した痰も、咳嗽反射を誘発します。日頃の診療をbrush upできるように、難治性咳嗽について事例を交えて分かりやすく説明させていただきます。



【閉会あいさつ】

総合診療科部長 後藤 仁志

主催：大阪市立総合医療センター

【事務局】 総合診療科 後藤 仁志
初期急病診療部 山口 利昌

お問合せ：地域医療連携センター 金山 ☎06-6929-3633 (直通)

第32回都島メディカル・カンファレンス（MMC）FAX申込書

大阪市立総合医療センター地域医療連携センター

申込FAX番号 06-6929-0886

お手数ですが、枠内にご記入の上、FAXにてご送信ください。ご参加いただける方のお名前の記載をお願いします。

なお、誠に勝手ではございますが、**9月9日（金）**までにご返信ください。

※本講演は、大阪府医師会生涯研修の認定を受けています。

| 参加者氏名 | |
|--------|---------------|
| ① | 職種 |
| ② | 職種 |
| ③ | 職種 |
| ④ | 職種 |
| 施設名 | |
| 施設所在地等 | 住所 TEL |

【案内図】



大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール
大阪市都島区都島本通2-13-22

最寄り駅

- 大阪メトロ（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
- JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

【事務局】

総合診療科 後藤 仁志
初期急病診療部 山口 利昌
お問合せ：地域医療連携センター 金山
☎06-6929-3633（直通）

